

「中小企業景況調査」まとまる

7月～9月期 機械金属業が大幅に改善

舞鶴商工会議所が実施した、7月～9月期（第2四半期）の景況調査の結果（別表）がまとまりました。

業況は、「全業種」で前期のマイナス27.3に対

して、今期はマイナス24.0となり、3.3%の改善となりました。業種別で見ると、「機械金属業」、「木材業」、「卸売業」は前期と比べて改善。中でも「機械金属業」

は、2018年10月～12月期以降、3期連続で悪化していましたが、今期は23.1で前期のマイナス13.3と比べ、36.4%と大幅に改善しています。一方で「建設業」、「水産加工業」、「サービス業」、「小売業」は悪化しました。

なお、今回の調査対象は中小企業124社で、96社（回収率77.4%）からの回答でした。

業況DI(2018年4～6月期から2019年7～9月期まで)

(別表)

業種	2018年			2019年			比較(%)
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	
全業種	-21.1	-22.8	-24.2	-25.0	-27.3	-24.0	+3.3
機械金属業	-7.1	21.4	7.7	-9.1	-13.3	23.1	+36.4
建設業	7.1	-6.7	13.3	-35.3	-29.4	-31.3	-1.9
繊維工業	-33.3	-33.3	-33.3	0.0	-33.3	-33.3	±0
木材業	-50.0	-40.0	-33.3	-33.3	-16.7	0.0	+16.7
水産加工業	-33.3	-66.7	-40.0	-50.0	-33.3	-50.0	-16.7
サービス業	-13.0	-21.7	-32.0	-16.7	-22.7	-24.0	-1.3
小売業	-43.8	-43.8	-68.8	-40.0	-41.2	-62.5	-21.3
卸売業	-30.8	-40.0	-16.7	-14.3	-30.8	-9.1	+21.7

※DIは景気が「良い」と回答した企業から「悪い」を引いた指数

クルーズ客船寄港は34回 今年の結果 大型船入港で過去最高8万5千人が来訪

10月18日京都舞鶴港に入港した「ル・ラベルーズ」を最後に、今年度のクルーズ客船の全日程が終了しました。

今年度のクルーズ客船の寄港回数は、34回で、昨年の23回に比べ11回増えています。また、寄港による来訪者が過去最高の8万5千人になり、寄港数で最も多かった一昨年の39回寄港時の6万3千人を大きく上回りました。

さらに、今年初寄港の船は7隻で、寄港回数は9回になっています。中でもアジア最大級の全長348m、16万8,666人のクァンタム・オブ・ザ・シーズと全長347m、16万9,379人で今年就航したばかりのスペクトラム・オブ・ザ・シーズが計5回寄港しました。これらは全て中国発着のクルーズで、今年度の来訪者の増加要因の一つとなっています。

特徴としては、初めて舞鶴港で2日間停泊した「シルバー・ミュージ」の寄港が上げられます。欧米系の乗船客の皆様は舞鶴の夜を楽しんでいただきました。

また、乗船客数が4千人規模の“カジュアルタイプ”の大型クルーズ客船から、乗客数百人規模で内装、サービス共に充実した“ラグジュアリータイプ”まで、幅広いタイプのクルーズ客船が寄港したのも今年の特徴です。

舞鶴商工会議所は、多くの観光客の皆様は市内を散策していただけるよう、飲食店や、お土産品、観光スポットなどを紹介する「うまいもんガイドブック」を作成し、港の観光案内所や西駅観光ステーション等で配布しました。